

# 進路だより

令和3年2月8日(月)

No. 9

行田特別支援学校進路指導部

## 高等部「先輩から話を聞く」

2月3日(水)に高等部1、2年生は、卒業後企業就労が決まった3年生3人から進路を決めるまでに大変だったこと、後輩へのアドバイス等を聞きました。

3年生の発表の一部を紹介します。

### ○進路を決めるまでに大変だったこと

- ・言葉づかいを注意されていたが、なかなか直らず就労が決まらなかったこと
- ・自分に合ったところを探すこと
- ・普段から報告することが苦手だったので、実習中報告することを何度も注意されたこと

### ○実習でほめられたこと

- ・作業能力が早いと言われたこと、コミュニケーションが取れていたこと
- ・あいさつや返事、スタッフの方とコミュニケーションが取れていたこと
- ・仕事の覚えが早いこと、素直で一生懸命取り組んだこと

### ○実習で注意されたこと

- ・丁寧な言葉づかいができなかったこと  
感情のコントロールができなかったこと
- ・お客様とコミュニケーションをとること
- ・最初は緊張して声が出なかったこと

### ○後輩へのアドバイス

- ・普段から丁寧な言葉づかいを意識すること
- ・イライラした時、不安になった時にどのように対処するか身につけておくこと
- ・あいさつ、返事をしっかりすること
- ・コミュニケーションをしっかりとること
- ・普段からあいさつ、返事、報告を大きな声ですること

発表からあいさつ、返事、報告、言葉づかい等コミュニケーションの力が、企業就労するためには不可欠とわかります。

1、2年生も、先輩の話を聞いて、自分の希望する進路を実現するためにどうすればよいかを考えましょう。

# 高等部 個別四者面談

進路指導部では、企業での就職を希望する高等部1年生を対象に進路指導サポーターの青木一男氏、保護者、担任による四者面談を行いました。面談では、「企業の求める人材」「就職してから求められる基礎能力」について話していただきました。

当日の資料「就労に向けてのポイント」より紹介します。

- 一般就労を早い段階から意識させ経験させる。
  - ・家事、買い物、お手伝いができる。
  - ・一人で外出し、公共交通機関が利用できる。
  - ・学校と家庭以外の人と交流できる。
- 社会経験を積む。
  - ・自分のできないこと、できることを知る。(強い部分、弱い部分)
  - ・社会人としての基本マナーを身につけている。
  - ・報告、連絡、相談ができるようになる。
  - ・自己紹介ができる。
  - ・どうして働きたいかを言えるようにする。
- 保護者のスタンス
  - ・子どもの強み、弱みを分析しておく。
  - ・通院、服薬、その他サポートして頂きたいことを正直に話す。
  - ・面接は、保護者の面接ではない自覚を持つ。  
本人だけでなく保護者も見られている。  
(本人を支援できるか、会社に協力してくれるか等)

## 求人票について

特別支援学校では、一般の高校生のように公開の求人に応募し、入社試験、入社面接等で採用が決まるわけではありません。学校に求人票は、きません。

在学中に現場実習を行って、就労可能か判断していただきます。

↓

会社側が雇用しても良いと判断したら、指名求人票（生徒本人用）をハローワークに提出していただくようにお願いします。

↓

指名求人票が学校に送られてきたら、内容を確認して応募します。  
応募には、自筆の履歴書が必要です。

↓

選考日に面接や試験を受けます。

↓

結果が、良ければ、内定通知書が学校に送られてきます。

↓

契約日の連絡が学校にあります。